

はじめに

「漢字ができるようになる」とはどういうことなのか。そんな疑問をきっかけにこの『漢字たまご』は誕生しました。「どんな場面で、どんな漢字を学習していくか」、「どんな学習方法があるか」ということを念頭に、長年にわたる日々の授業を通して、学習者と共に作り上げてきたものです。そして今回、「漢字たまごシリーズ」の第3弾として『漢字たまご 中級』が作成されました。中級1（第1課～第10課）、中級2（第11課～第20課）の2分冊となっています。

このテキストは、これまでと同様に「何ができるかが明確になっている」「漢字の接触場面から学ぶ」「漢字学習ストラテジーを身につける」という3つのことを柱としています。そして、『漢字たまご 初級』『漢字たまご 初中級』を終えた学習者はもちろん、中級からこのテキストで学ぶ人、非漢字系の学習者も漢字系の学習者も共に楽しく学び合うことができるようになっていきます。

● 「何ができるかが明確になっている」

20の場面、トピックの中で、学習者が「社会の中で求められる漢字は何か」「その漢字を使って何ができるのか」がわかるようになっていきます。こうすることで、学習者自身が「何のために漢字を学ぶのか」を意識し、明確な学習目標を設定することができます。

● 「漢字の接触場面から学ぶ」

実際に近い場面の中で使いながら学習することによって、文脈の中で生きた漢字の使い方を学ぶことができます。さらに、教室の中での疑似体験を通じ、未知の漢字に対処する推測力、応用力を養うことができます。そして、学習者が社会の中で実際に学んだ漢字と出会うことで「漢字が『わかる』『できる』」という実感が生まれます。それが積み重なっていくことで達成感を得ることができます。

● 「漢字学習ストラテジーを身につける」

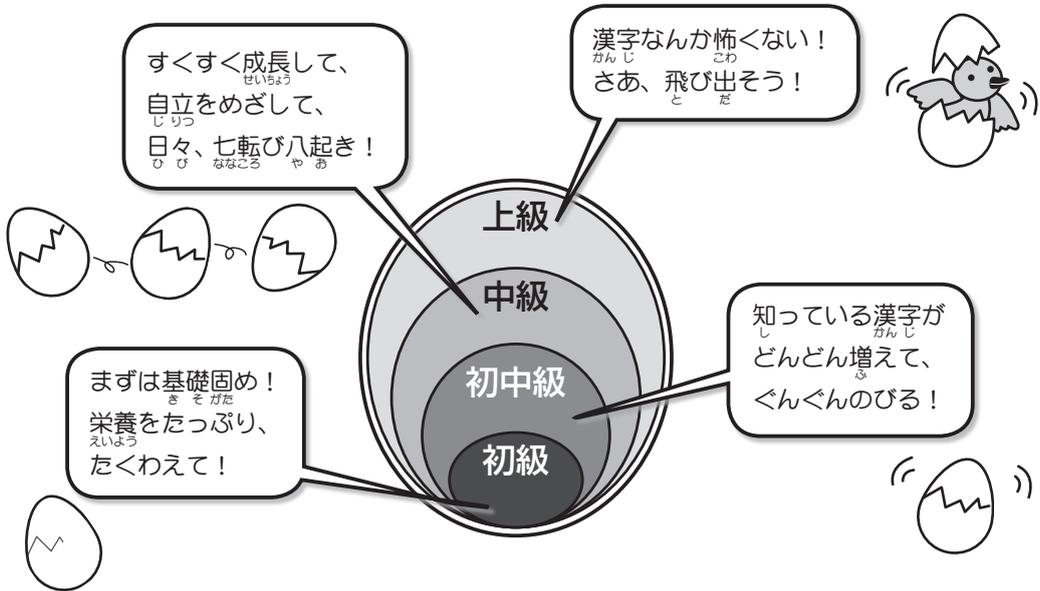
学習者が自分に合った学習方法を選択できるようになるために、漢字学習のアイデアをたくさん紹介しています。また、学習者が間違いやすい点がポイントとして挙げられ、ひと目でわかるようになっていきます。さらに、学んだ漢字を整理し、繰り返し練習することで定着が進められます。中級レベルで求められる既知の漢字をもとにした類推力、語彙生成力などが身につくような工夫も盛り込まれています。

「漢字たまご」を使用することで、教室では教師と学習者のやり取りが生まれ、漢字学習が楽しく、能動的なものとなります。ぜひ、学習者のみなさんと新しい「漢字の学び」を体験してください！

2024年2月 著者一同
ねん がつ ちよしゃいちどう

「漢字たまご」とは

漢字たまごは、漢字を学習する「学習者の成長」を表しています。学習者はまず、漢字の基本となるルールを学び、基礎となる「初級の漢字」をしっかりと自分の中に身につけます。そして、次はその蓄えた知識をもとに、自らの興味・関心、専門についての漢字を能動的に学んでいきます。そこからさらに、漢字学習が社会へと広がっていくことを、たまごの成長と重ねて表しています。



漢字たまご

『漢字たまご 中級』は上の概念図「漢字たまご」の「自らの興味・関心、専門についての漢字」を能動的に学んでいくための教材です。そして、ここでの学びを経て、次の段階である「教室を飛び出して社会の中でどんな漢字にも対応できること」を目指します。